

# 良い社会創造に向けて 子どもを大切に育てる

寄稿 鈴木 亜未衣(経済2)

経済学部国際経済学科「海外特別研修」(指導・永島剛教授)でフィンランド研修旅行に参加した鈴木亜未衣さん(経済2)の体験記を紹介する。海外特別研修は、欧米社会が直面する諸問題を発見し考察する授業で、夏期休暇中に現地研修旅行を行う。海外特別研修はこのほか飯沼健子教授のラオス、タイをフィールドにする授業、稲田十一教授の国際協力をテーマにする授業があり、合計3クラスで展開されている。

9月に、8日間のフィンランドでの教育関係の研修に参加しました。教育には以前から興味がありました。子どもにとって家庭と学校での学びは重要だと感じていたからです。自分が受けてきた教育とフィンランドでの教育はどのように違うのか、知れたかったのが参加した動機です。



さまざまな年代の人々が訪れるヘルシンキの図書館



タンペレ市のムーミン美術館で。右にあるムーミンのパネルの左で座っているのが鈴木さん

訪問先は学校や図書館。そこでは教育に関して多くの点で日本との違いを感じました。その根底にあるのは、教育に対する考え方だと思えます。フィンランドでは子どもが宝物という考え方があり、一人一人の子どもの大切に育て、良い社会をつくらうという考えが多くの人の中で共有さ

れている。また、学校と保護者との間に信頼関係があると感じました。ヘルシンキ、タンペレ市を中心に実際に訪問した際に感じたことをいくつか紹介します。

まず幼稚園で印象に残っているのは、先生の子どもへの接し方です。ただ否定するのではなく、だ否定するのではなく、やっではない理由を説明し、先生が子どもたちとしっかり向き合っている印象を受けました。小学校では低学年の国語の授業を見学しました。授業で「暑い時はどう表現する?」という先生の質問に対して、子どもたちは、体を動かして表現していました。先生は、どの子どもの発表も

## フィンランド教育研修に参加

肯定的に受け止め、考えを尊重しているように感じました。ここでは一日に1回、30分の休みがあり、多少雨が降っても、その時間は子どもたち全員が必ず外に出ます。どの子どもたちも楽しそうに遊んだり話したりしていました。

大学では、教員養成についてのお話を伺いました。「学校の役割は、子どもたちが将来社会の一員として活躍できるように力を育てることであり、先生の役割は、その手助けをすることだ」と教授は話していました。

フィンランドは大学入試まで全国統一試験がありません。順位をつけた試験のためだけの知識をつけたりすることより重要なのは、子どもの能力とアイデンティティの両方を育てること。それはフィンランドの学校で実際に感じることでできました。

図書館では、図書館がない学校へ本を持っていく移動図書館や先生向けの中央図書館は、とても広くて本ばかりではなくカフェや、ミン・3Dプリンターが置かれた作業スペースが設けられ、小さい子から高齢の方まで多くの方が訪れていました。

訪問先で目や耳にしたことはもちろんですが、行動を共にした他大学の学生と学びを共有できたことが今回の研修をより充実したものにしてくれました。教育というものに対して、もっと関心をもち考えていきたいと強く感じました。



## KAIGO LEADERS students team主催 まごmeeting

# 祖父母の大切さ再認識

寄稿 石川 雄也(経営2)



まごmeetingで祖父母を喜ばせるアイデアを披露する参加者。イベントには専大生など20人が参加した

敬老の日に先立つ9月2日、KAIGO LEADERS students team主催「まごmeeting」が都内で行われた。大学生が孫の立場で祖父母の大切さを再認識することで、超高齢化社会への心構えを新たにしようとした。

KAIGO LEADERSとは超高齢化社会を創造的に生き残るためのリーダーのコミュニティであり、その中の一つに「まごmeeting」が存在する。現在8人の学生がおり、本学の学生も4人が所属している。私たち専大生は経営学を学んでおり、介護のことを学んでいくわけではない。しかし、高齢化社会の問題は避けられないと思い、今から少しずつでも目を向け、自分たちができることをやってみようと思っただけで活動に参加したきっかけだ。

今回開催した「まごmeeting」とは「敬老の日」に向け、おじいちゃん、おばあちゃんを喜ばせるための作戦会議」であった。KAIGO LEADERSは今後、全国8カ所にコミュニティをを広げ、介護を、地域を、日本社会を盛り上げていく。

## 経営・一ノ宮ゼミ3年次生チーム

# 健康切り口に集客案

## 観光まちづくりコンテスト入賞

観光を通じた地域活性化プランを提案する「大学生観光まちづくりコンテスト2019」の茨城ステーションで9月18日、茨城県古河市であり、経営学部・一ノ宮

士郎ゼミの3年次生による「茨城いがっぺよ」チームが茨城県観光物産協会賞を受賞した。

メンバーは高沢美穂さん、今泉彪吾さん、野崎裕人さん、藤岡毅さんの4人。「健康×観光まちづくり」を掲げ、つくば市の社会的共通資本を生かした宿

泊促進プランを提案した。つくば市には先進医療を数多く実施している施設があり、自然も豊かな点に着目。東京からのアクセスの良さなども考慮し、シニア層や外国人観光客が健康的にリフレッシュできる案を打ち出した。

高沢さんは「訪問を継続

「健康×観光まちづくり」を掲げ、つくば市の社会的共通資本を生かした宿

高沢さんは「訪問を継続

高沢さんは「訪問を継続